

1 2つのパーティクルを伴う句動詞

本書ではこれまで、動詞の後に1つのパーティクルが伴う句動詞を扱ってきました。この章では、**動詞の後に2つのパーティクルを伴う句動詞の問題**を取り上げます。このタイプの句動詞には、

- **タイプ⑤**: 動詞とパーティクルが**分離可能**で名詞が**2つ**
- **タイプ⑥**: 動詞とパーティクルが**分離不可能**で名詞が**1つ**

があります (p.018参照)。これらを「**2パーティクル句動詞**」と呼び、ここでは「**タイプ⑥**」の問題を扱うことにします。(タイプ⑤についてはp.153からの「ワンポイントコーナー」をご覧ください)

タイプ⑥句動詞は、すべて次のように「**動詞+2つのパーティクル+名詞/代名詞**」の順になります。

動詞 + パーティクル1 + パーティクル2 + 名詞/代名詞

以下のようなものが典型的な例です。

- Our company **went + ahead + with + the project / it.**
「当社はそのプロジェクト/それを進めた」
- Mr Jones **lives + apart + from + his family / them.**
「ジョーンズさんは家族/彼らと別れて暮らしています」
- I didn't have the courage to **face + up + to + the boss / her.**
「私には上司/彼女に立ち向かう勇気がなかった」

あえて言えば、最初のパーティクルは副詞で2番目のパーティクルは前置詞です。

2つのパーティクルをもつ句動詞は、1つのパーティクルを持つ

句動詞と比べて複雑あるいは難しいと思われるかもしれませんが、しかし私の感覚ではそうではありませんし、むしろ、少なくとも理解するのに苦勞することはないと思います。(口頭で使うのは少し難しいかもしれませんが)

2パーティクル句動詞が難しく思えるのは、句動詞の3つの要素のそれぞれが、全体的な意味に対して独自の影響を与えるからです。これについては以下で検討します。

タイプ⑥句動詞にはパーティクルの組み合わせによってさまざまなパターンがありますが、この章では、頻度が高い、以下の3つのパターン (**2番目のパーティクルに with / from / to を用いたもの**)の句動詞を扱います。

- 1) 動詞+パーティクル1+パーティクル2 (**with**) +名詞/代名詞
- 2) 動詞+パーティクル1+パーティクル2 (**from**) +名詞/代名詞
- 3) 動詞+パーティクル1+パーティクル2 (**to**) +名詞/代名詞

2 句動詞の意味の重みはどれにあるか

動詞とパーティクルが結合して句動詞の全体的な意味をつくりますが、**その両方が同じ比重をもっているとはかぎりません**。動詞とパーティクルが変われば、そのどちらに意味の重みがあるかも変わり、それにより全体的な意味も異なってきます。これは句動詞によくあることです。

句動詞の意味については、意味の重みがどこにあるのか自分でチェックすることができます。(句動詞における意味の重みについては第11章と13章でも扱います) 3つの単語(動詞、最初のパーティクル、2番目のパーティクル)があるとすると、**全体的な意味を作るのに最も責任のある単語はそのうちどれでしょう?**

ここでは、次の3つの場合が考えられます。